

# スポーツ秋田



題字：辻 兵吉 元県体協会長



バスケットボール 成年男子 優勝・J R東日本秋田



バドミントン 成年女子 優勝・(株)北都銀行  
(左から) 米元・田中・川上・原田監督



弓道 少年女子 遠的 優勝・秋田選抜  
(左から) 伊藤・石川・高橋



バスケットボール 成年女子 優勝・(株)秋田銀行

[写真提供：秋田魁新報社]

## contents

- ◎第72回国民体育大会（本大会）グラビア…………… 2
- ◎第72回国民体育大会（本大会）入賞者一覧 …… 3
- ◎第72回国民体育大会報告会 …… 4
- ◎第72回国民体育大会（本大会）優勝インタビュー …… 6
- ◎第72回国民体育大会成績と前年度比較 …… 10
- ◎中学生強化選手育成事業 中・高連携強化プロジェクト… 11

- ◎文化功労章・公認スポーツ指導者等表彰 …… 12
- ◎日・韓・中ジュニア交流競技会（2020 秋田大会）…… 13
- ◎秋田トップアスリート無料職業紹介所 …… 14
- ◎総合型スポーツクラブ …… 15
- ◎高校スポーツ。いざ、冬の陣! …… 16
- ◎県内スポーツの主なできごと …… 18

# えがお 2017 愛顔つなぐえひめ国体

第72回国民体育大会 君は風 いしづちを駆け 瀬戸に舞え



9月30日の総合開会式で入場行進する本県選手団



レスリング 成年男子 フリースタイル 86kg級  
2年ぶり4度目の優勝・門間順輝(興・秋田市消防本部)



カヌー 少年男子 スプリント・カヤックシングル  
(200m)優勝 松川瑛 (本荘高)



カヌー 成年女子 スラローム・カナディアンシングル  
(15ゲート・25ゲート)2冠 佐藤彩乃  
(株秋田病理組織細胞診研究センター)



カヌー 成年女子 スプリント・カヤックシングル  
(500m・200m)2冠 小野祐佳 (秋田県体育協会)



レスリング 少年男子 グレコローマンスタイル 84kg級  
2連覇・山田修太郎(秋田商高)



フェンシング 成年女子 フルーツ  
2位・秋田(秋田市役所) 鈴木(左)



陸上競技 成年男子 10000m競歩  
2位・小林快(手前・映ビックカメラ)



陸上競技 少年女子 400mハードル  
3位・関本萌香(大館鳳鳴高)



ウエイトリフティング 少年男子53kg級  
クリーン&ジャーク 3位・戸嶋響愛(金足農高)

[写真提供：秋田魁新報社]



## 第72回国民体育大会(本大会)入賞者一覧

順位	競技名	種別	種目	氏名	所属
1位	カヌーS L	成年女子	カナディアンシングル 25 ゲート	佐藤 彩乃	㈱秋田病理組織細胞診研究センター
	カヌーS L	成年女子	カナディアンシングル 15 ゲート	佐藤 彩乃	㈱秋田病理組織細胞診研究センター
	カヌーS P	成年女子	カヤックシングル 500 m	小野 祐佳	秋田県体育協会
	カヌーS P	成年女子	カヤックシングル 200 m	小野 祐佳	秋田県体育協会
	カヌーS P	少年男子	カヤックシングル 200 m	松川 瑛	本荘高校
	弓道	少年女子	遠的		秋田選抜(伊藤、石川、高橋)
	バスケットボール	成年男子	—		J R 東日本秋田
	バスケットボール	成年女子	—		㈱秋田銀行
	バドミントン	成年女子	—		㈱北都銀行(米元、田中、川上)
	レスリング	成年男子	フリースタイル 86kg級	門間 順輝	秋田市消防本部
	レスリング	少年男子	グレコローマンスタイル 84kg級	山田 修太郎	秋田商業高校
2位	カヌーS L	成年男子	カヤックシングル 25 ゲート	佐々木 翼	尙鶴の湯温泉
	カヌーS L	成年男子	カヤックシングル 15 ゲート	佐々木 翼	尙鶴の湯温泉
	カヌーS L	成年男子	カナディアンシングル 25 ゲート	佐々木 翼	万六建設㈱
	カヌーS L	成年男子	カナディアンシングル 15 ゲート	佐々木 翼	万六建設㈱
	弓道	成年男子	近的		秋田選抜(渡邊、鎌田、成田)
	フェンシング	成年女子	フルーレ		秋田市役所(鈴木、高橋、岡部)
	陸上競技	成年男子	10000 m競歩	小林 快	㈱ビックカメラ
	レスリング	少年男子	フリースタイル 66kg級	米澤 凌	秋田商業高校
3位	ウエイトリフティング	少年男子	53kg級クリーン&ジャーク	戸嶋 響愛	金足農業高校
	カヌーWW	成年男子	カヤックシングルスプリント	佐々木 優	秋田県体育協会
	フェンシング	成年男子	フルーレ		秋田選抜(松岡、簾内、安部)
	陸上競技	少年女子	400 mハードル	関本 萌香	大館鳳鳴高校
	レスリング	成年男子	98kg級グレコローマンスタイル	櫻庭 正義	秋田県体育協会
	レスリング	少年男子	74kg級グレコローマンスタイル	小野 文聖	五城目高校
4位	カヌーS P	少年男子	カヤックシングル 500 m	松川 瑛	本荘高校
	フェンシング	少年女子	フルーレ		聖霊高校(田口、成田、土佐)
	ライフル射撃	成年男子	10 mエアライフル伏射	渋谷 志	秋田県ライフル射撃協会
5位	ウエイトリフティング	成年男子	53kg級クリーン&ジャーク	佐藤 亮哉	秋田県体育協会
	ウエイトリフティング	成年男子	105kg超級スナッチ	腰山 浩汰	秋田県体育協会
	ウエイトリフティング	少年男子	105kg級スナッチ	鎌田 拓也	金足農業高校
	ウエイトリフティング	少年男子	105kg超級スナッチ	淡路 恭太	金足農業高校
	ボート	少年女子	ダブルスカル		本荘高校(佐藤、五十嵐)
	レスリング	少年男子	グレコローマンスタイル 50kg級	山谷 洸芽	秋田商業高校
	レスリング	少年男子	グレコローマンスタイル 60kg級	佐藤 旭	秋田商業高校
6位	ウエイトリフティング	成年男子	105kg級スナッチ	藤原 和朋	秋田日重会
	ウエイトリフティング	成年男子	105kg 超級クリーン&ジャーク	腰山 浩汰	秋田県体育協会
	ウエイトリフティング	少年男子	53kg級スナッチ	戸嶋 響愛	金足農業高校
	ウエイトリフティング	少年男子	105kg級クリーン&ジャーク	鎌田 拓也	金足農業高校
	フェンシング	少年男子	フルーレ		秋田北鷹高校(松淵、伊藤、宮崎)
	ボート	少年男子	舵手つきフォドルプル		本荘高校
	ラグビーフットボール	女子	—		オール秋田
7位	ウエイトリフティング	成年男子	105kg級クリーン&ジャーク	藤原 和朋	秋田日重会
	ウエイトリフティング	少年男子	105kg超級クリーン&ジャーク	淡路 恭太	金足農業高校
	カヌーWW	成年男子	カヤックシングル 1500 m	佐々木 優	秋田県体育協会
	馬術	成年男子	自由演技馬場馬術	藤原 健	尙乗馬クラブエクセラ
	ラグビーフットボール	少年男子	—		オール秋田
	陸上競技	成年女子	三段跳	高橋 英里	福島大学
8位	カヌーS L	成年女子	カヤックシングル 15 ゲート	鈴木 恵子	クリナップ㈱
	セーリング	成年男子	レーザー級	齋藤 大輔	美浜㈱
	陸上競技	成年女子	ハンマー投	小館 充華	流通経済大学



第72回国民体育大会秋田県選手団報告会

天皇杯・皇后杯共に20位に大躍進

第72回国民体育大会は、秋田県初のスキー競技会での天皇杯・皇后杯同時獲得という最高の形でスタートを切り、その勢いで臨んだ本大会でも最後まで勢いが衰えず、天皇杯は昨年の37位から20位に、皇后杯は昨年の36位から20位に大きく躍進しました。

この勢いを次回の第73回大会につなげられるよう、11月22日(水)、各競技団体の役員や強化担当者ら約70名の参加により、第72回国民体育大会秋田県選手団報告会を開催しました。

報告会では、はじめに衆議院議員の馳浩氏より「スポーツの意義」について御講演いただき、今後の競技力向上に向けての熱い激励と多くのヒントを頂戴しました。その後、今大会において活躍した競技団体のうち、スキー連盟、カヌー協会及びバスケットボール協会が大会の報告を行い、強化方法等について意見交換した後、本会の強化委員長が総括を行いました。以下にその報告内容と総括の一部を紹介します。

スキー競技 総監督 田口 將



第72回「ながの銀嶺国体」は'98年長野五輪が開催された白馬村での開催でした。

天皇杯は「わか杉国体」以来10年ぶり2度目、皇后杯は6連覇を逃した後3年ぶり7度目で初の同時獲得を達成しました。これは北海道を除くと長

野が地元開催時の2度を含め3度、新潟が地元開催時に1度ありますが、東北では他に天皇杯も皇后杯も獲得した県はありません。今大会では入賞した選手のみならず、出場した選手全員が一丸となってすばらしいパフォーマンスを発揮しての総合力の結果であり、何よりも増して讃えたいと思います。

前回の岩手国体で優勝した2名がシーズンはじめのケガのために出場できないという状況の中で、大きなハンディを抱えた危機感をチーム全体で共有して臨んだ大会でした。直前に行われた群馬県片品村でのインターハイでノルディック種目を中心に大活躍をしましたが、わずか10日あまりの間でモチベーションを含めて心身のコンディションを整えるのは至難の業です。そこを高校の監督から国体のスタッフへ速やかに情報交換をしながら上手に引き継ぎをしてフォローできたことが、少年組の勢いをそのまま発揮できた要因であろうと考えております。また、平成9年から国体(冬季大会)を鹿角市で4度開催し、その際の大規模な施設整備等によって、国体に対する意識を含め大きな相乗効果を得ることができました。この間地元企業に複数選手を抱えてもらうという大きな支援をいただき、世界での経験や日本のトップで活躍する意識の高い経験豊富な選手が各セクションでチームを牽引してくれています。

こうした様々な要因が全てマッチし、そして出場した全選手団が「チーム秋田」の自覚を持って立ち向かった結果が、劣勢を大きく跳ね返して最終種目の成年男子リレー62年ぶりの劇的な優勝に繋がり天皇杯獲得。皇后杯もまた、最終のリレーで逆転優勝して北海道を逆転……この時期には珍しい土砂降りの雨の中、選手団歓喜の同時獲得となりました。かつて3強時代が続き目標としてきた開催地「長野」いわばアウェイの地で最高のパフォーマンスを発揮した選手、その力を遺憾なく引き出した日本一の監督・

コーチ、様々な形でサポートを頂いた県・県体協、全ての方々の力が結集して、歴史に残る偉業を達成できたことを誇りに思うと同時に、心から感謝を申し上げます。

さて、第73回大会は年明け2月25日から新潟県妙高市で開催されますが、唯一連覇の権利を頂きました。当然厳しい戦いにはなりますが、果敢に挑戦したいと思います。

カヌー競技 監督 藤田 芳哉



スラローム・ワイルドウォーター競技は高知県山本町を流れる吉野川の寺家カヌー競技場において先行開催されました。

本県選手は5名の選手が出場し、成年女子スラロームカヤックシングルの鈴木恵子選手は私が一番感動した選手で、平成18年の高校2年生の時、大学受験に向けての勉強の為、引退しましたが、今年10年間のブランクから復帰し、ブロック予選を通過し国体に初めて出場しました。25ゲートはミスが目立ち11位でしたが、15ゲートは女子選手の中で一人、ノーミスのペナルティー無しで漕ぎきる事が出来、感動の8位に入賞しました。成年男子スラロームカヤックシングルの佐々木翼選手は平成13年からスラローム及びワイルドウォーター各種目での国体優勝回数13回などカヌー界のベテランで、今回は25ゲート・15ゲートとも2位に入賞しました。国体新種目であります成年女子スラロームカナディアンシングルの佐藤彩乃選手は25ゲートと15ゲートで2冠を達成しました。現在、日本カヌー連盟カナディアンナショナルチームとして東京オリンピックを目指し、スロベニアに拠点を置き、練習しています。成年男子スラロームカナディアンシングルの佐々木翼選手はカヤックシングルの佐々木翼とは同姓同名ですが、昨年、リオデジャネイロオリンピックにカナディアンペアに出場した佐々木兄弟の弟で25ゲート・15ゲートとも2位に入賞しました。兄の佐々木翔太選手はカナディアンナショナルチームとして東京オリンピックを目指して練習しております。ワイルドウォーターカヤックシングル成年男子の佐々木優選手は1500mでは7位、スプリントでは3位に入賞しました。

スプリント競技は大洲市の鹿野川湖特設カヌー競技場において開催され、3名の選手が出場しました。



成年女子カヤックシングルの小野祐佳選手は岩手国体まではコーチとして少年選手の育成・強化にあたりましたが、東京オリンピックを目指し現役復帰した選手です。職場からのご配慮など様々な方面から支えがあり、競技に打ち込める環境を与えていただき、その結果、復帰1年で愛媛国体2冠を達成しました。日本代表ナショナルチームの練習拠点である石川県で、成年男子選手と年間を通じて行われている合宿に参加できたことが成果に大きく現れたものと感じております。世界を目標として活躍するためには、練習環境と練習時間の確保が重要と感じた1年でした。

少年の強化取り組みについてですが、本県カヌースプリント競技は競技選手が少ないこともあり、競い合いながらの練習が不足してしまう傾向にあったため、土日は可能な限り東北各県との強化合宿を行い、その結果、練習のマンネリ化防止や目標意識を高揚させることができ、また、3年前からテクニカルアドバイザーからの練習の取り組み方やメンタル面の強化のサポートのおかげで、高校1年でありながら松川瑛選手が優勝できたのではないかと考えています。また、長期計画で取り組んできた成果が着実に成績に現れた事がうれしく思っています。

今後、福井国体に向けて、スラローム競技・スプリント競技共に上位入賞を目指し、東京オリンピック及び、世界を目指し、強化に取り組んでいきます。

#### 秋田県バスケットボール協会強化委員長 千田 裕之



愛媛国体のバスケットボール競技は、成年男子が東温市、成年女子と少年女子は今治市を会場に開催されました。

成年男子は初戦が強豪の大阪府、勝っても2回戦が昨年優勝の東京都という大変厳しい組み合わせでしたが、1回戦の大阪戦ではこれまでに無い100対55の大差で勝利し、準々決勝の東京戦は94対66とこちらも予想以上の大差で勝利しました。準決勝は香川県との戦いとなりましたが、接戦ではあったものの76対66で勝利し、21年ぶりの決勝戦進出を決め波に乗りました。

決勝戦は格上のB3リーグに所属しているアイシンAWチームとの戦いとなり、練習試合でも一度も勝ったことの無い相手でしたので、選手の集中力と頑張りには期待しました。全てのQが接戦となり、シュートを決めたら決め返される意地の張り合いで、気合の入った試合展開に、会場の応援もボルテージが上がってました。4Qの残り1分を切って91対89の2点差のリードでしたが、残り20秒を切って愛知県にシュートを決められ91対91の同点に追いつかれました。次の秋田のオフェンスではシュートが決まらず、リバウンドを取った愛知県が速攻を仕掛けてシュートをしましたがこれも決まらず、リバウンドを秋田が取ったところで愛知県が痛恨のファウルを犯してしまい、秋田に2本のフリースローが与えられました。1本目が決まらず会場がどよめく中、2本目を決めてくれて92対91の1点リードとなり、残り0.7秒で愛知県がタイムアウトを取ってオフェンスの確認をしての再開となりました。愛知県のシュートが入らず試合終了となり、22年ぶりの成年男子の優勝が決まり、感無量の優勝でした。

成年女子は準々決勝で愛知学泉大学単独チームの愛知県との戦いでしたが、本当に気の抜けない大接戦の試合となり、3Qまでは57対57の同点で、4Qの終盤までもつれた試合でしたが、最後までインサイドを攻め続けた秋田銀行が、72対68の4点差の僅差で勝利しました。準決勝の山梨県も山梨学院大学の単独チームとの戦いで、2Qの前半ではリードをするも、終盤追い上げられて38対33の5点差で後半を迎えましたが、ここから一進一退の試合展開になったものの、ディフェンスを頑張り70対62の8点差で勝利を収め、昨年の成績第3位を超えることが出来ました。

決勝戦は岩手国体で優勝している白鷗大学の栃木県となり、学生との3連戦になりました。前半を終わって両者一步も譲らない32対32の同点で終了しましたが、3Qに入り栃木県の主力選手にファウルがかさみ、4回目で選手交代したことが勝負の分かれ目になったと思います。9点リードで4Qに入り、栃木県は主力2名がファウルトラブルで出られない時間帯に、秋田銀行は一気に突き放して77対55の大差で長崎国体以来3年ぶりの優勝を果たし、成年男女初のアベック優勝をするとともに、平成19年の「秋田わか杉国体」以来のバスケットボール競技の「男女総合優勝・女子総合優勝」という快挙を成し遂げることが出来ました。

成年男女とも「集中力を発揮し、気力を出し尽くして」戦ってくれたことに敬意を表したいと思います。

#### 総括 秋田県体育協会強化委員長 田口 將

国体の成績において低迷を続けておりました本県ですが、第72回大会では「山口国体」以来6年ぶりに900点を大きく超え、優勝数11を含め入賞トータル数51と大変頑張っただき989点を獲得いたしました。もちろんそれぞれに力があつたからこそその成績ではありますが、2月のスキーから始まり先行開催されたカヌー・弓道の活躍で非常に良い流れができ、それを主会期に繋げられたことが大きな要因の一つではなかったかと思えます。しかし、多少の入れ替わりはあるにしろ今大会においても40競技団体の内、得点をしたのは15競技であり、ここ数年その数で推移しているのが現状です。ここを17・20と増やしていくことができれば、悪くても950点くらいの所をコンスタントに獲得し、いつでも1000点が伺える位置で戦えるようになるのではないかと考えております。また課題である少年組ですが、今大会昨年の大会より50点程上げて218.5点を獲得しました。しかし、こども得点を上げたのは9競技だけです。まだまだ表の得点だけを見て喜んでばかりいられない現状にあります。

国体が競技力を計る全てではないにしろ大きなバロメーターではあります。既に愛媛国体終了と同時に第73回大会に向けての戦いは始まっております。全競技団体がしっかりと自覚を持って一つの方向、一つの目標に向かうことが、まずは何より大切なことです。今大会を「スポーツ王国」復活に向けたきっかけにして、安定した底力のある「チーム秋田」を目指したいと思います。力をあわせて頑張りましょう!!



## えひめ国体 優勝インタビュー

### カヌー

成年女子 スプリント  
カヤックシングル  
200m・500m 優勝  
小野 祐佳 選手  
(秋田県体育協会)



### 1 愛媛国体の結果について

#### ① 決勝直前の心境

2020年東京オリンピックでの金メダルを見据えた今年の目標記録(500mで1分54秒)をマークすることだけを考えてました。ただ、通常であれば20分間水上でウォーミングアップをした後にスタートするのですが、前日からの大雨でコース内の浮遊物がひどく、撤去のために選手全員が水上で1時間待機することとなりました。体の冷えを最小限にすること、集中を切らさないことにも気をつけました。

#### ② 優勝した時の感想・今回の勝因

昨年10月競技復帰のオファーから今年4月以降本格復帰後、国内の大会で優勝するには十分な準備をしてきましたので、それを確実にできて良かったです。ただ、ゴール直後、目標記録には届いた感覚ではなかったため、素直に喜べませんでした。それでもレース前の1時間待機の条件を考えれば悪い記録ではなく、レースプランも練習で取り組んできたことが実践できたので次につながるレースになったと思います。

### 2 競技種目の魅力

カヌースプリント競技は1人乗りでも瞬間最大時速60km程も出ることがあり、ひらけた水上でボートを自分で操り、生身で風をきる、他の何にも例え難い爽快感と開放感が醍醐味です。また、2人乗り、4人乗りの競技もあり、ライバルと同じボートに乗り込み、普段のように一人一人戦うのではなく、1つの目標に向かって感覚を擦り合わせ勝ちにいけます。相方との駆け引き、相性など調整することがたくさんあり、勝ったときの喜びはひとしおです。

### 3 来年度の抱負

来年度は8月末にインドネシアでアジア大会が開催されます。今年9月中旬に上海で行われたアジア選手権大会で戦った相手と再戦します。万全な準備をし、アジアで金メダルを獲ります。また、500m・200mともに記録を世界基準に引き上げることも必要です。東京オリンピックの出場枠を獲得する世界選手権が開かれる2019年8月までに決勝にすすむ力をつけていなければなりませんので、来年度非常に重要になります。

### 4 応援してくれた県民にメッセージ

地元由利本荘市の方をはじめ、復帰を知った方々の応援がとても力になりました。仕事の都合で一度退いた競技でしたが、再びチャンスをいただけたことに心から感謝し、東京オリンピックの決勝レースまで突き進みます。今シーズンの応援ありがとうございました。東京オリンピックに向け、引き続きよろしくお願いたします。

### カヌー

成年女子 スラローム  
カナディアンシングル  
15ゲート・25ゲート 優勝  
佐藤 彩乃 選手  
(株式会社秋田病理組織細胞診研究センター)



### 1 愛媛国体の結果について

#### ① 決勝直前の心境

両種目ともあまり緊張はなく、落ち着いていました。いつも気をつけてトレーニングしている事を何度も自分に言い聞かせて、普段通りの漕ぎができるようにしていました。そのせいか、良く集中した状態でスタートを切ることができました。

#### ② 優勝した時の感想

いつもサポートしていただいている方々に感謝の気持ちでいっぱいになりました。表彰台の真ん中に立てたことはとても嬉しかったです。ですが、私にとって改善したい点があるレースでした。表彰台に立った時に、次回またこの場所に立つ時は、もっと納得のいく漕ぎをして立ちたいと思いました。

#### ③ 今回の勝因

他の選手よりも今回出場した種目に、早く取り組めたことが一番の勝因だと思います。きっかけをくれたコーチにはとても感謝しています。また自信を持って大会に挑めた事も、今回の成績に繋がったのだと思います。その為、いつも通りに漕ぎれば問題ないという気持ちにすぐに持っていく事ができました。

### 2 競技種目の魅力

水の上から見える景色、流れを感じて漕げること、ブレードが1つしかない難しさです。陸上と水上では、見え方が違い、同じ場所でも別の場所にいる気分になれます。また、場所により流れ方も変わるので、その時の状況判断でボートをスムーズに動かせることも楽しいというのが魅力です。水かきが1つだけという点は難しいですが、よりスラロームを面白くしていると思います。

### 3 来年度の抱負

来年度も今回の表彰台と同じ場所に立つことが目標です。ですが私の1番の目標は2020年の東京五輪なので、その大会に向けて日々、自分自身を成長させていきたいです。その為、1回1回のトレーニングでの漕ぎの質を、より良くしていきたいです。

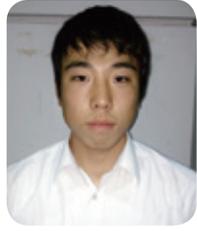
### 4 応援してくれた県民にメッセージ

愛媛国体では多くの応援、本当にありがとうございました！優勝後のたくさんの方から頂いた、「おめでとう」という言葉がとても嬉しかったです。また良い報告ができるよう励みますので、今後とも応援よろしくお願いたします。



**カヌー**

少年男子 スプリント  
カヤックシングル 200 m 優勝  
松川 瑛 選手  
(本荘高校)



**1 愛媛国体の結果について**

① 決勝直前の心境

今回の国体は、インターハイなどのほかの大会とは違い、少年の部では自分ひとりしか出場できなかったのが確実に入賞しなければならないと感じていましたし、周りからの期待も大きかったのですが、気負い過ぎず自分のペースでレースを展開し、絶対に勝つ！という強い気持ちで決勝に臨みました。

② 優勝した時の感想

ゴールした直後、自分と競っていた選手を見ると前に出ているので、コンマ差で負けたと思っていましたが、その後コーチから1位という結果を聞き、今までの目標を達成することができ感無量でした。

③ 今回の勝因

得意な前半では、上手く前に出て3位の位置につくことができ、苦手な後半でも、ペースを落とすことなく前にいる選手を追いかけ、その後抜くというこれまでイメージしてきた理想の形でレースを展開できたことが勝因だと思います。

**2 競技種目の魅力**

カヌーの魅力は、他のスポーツとは違う水上という特殊な環境での疾走感だと思います。普段よりもより近くで自然を感じる事ができ、この非日常感は皆さんにも実体験で味わってほしいです。

**3 来年度の抱負**

今年はシーズン最後の全国レベルの大会である国体で優勝することができたものの、インターハイやチェコで行われたオリンピックホープスなどでは、勝つことができませんでした。来年は、出場するすべての大会で優勝できるように、世界のトップ選手に負けない体づくりや、どんな状況でも力を発揮できるようメンタル面の強化など来シーズンへの準備をしていきたいです。

**4 ジュニア選手にアドバイス**

私も普段からコーチや監督に言われていますが、ジュニアはまず体を大きくすることが大事だと思います。たくさん食事を取り、練習にしっかり取り組みましょう。秋田の未来を背負っていく世代なので、怪我をせずカヌーを楽しみながらこれからも頑張っていってください。

**弓道**

少年女子 遠的 優勝  
秋田選抜チーム  
高橋りの選手  
(由利高校)



**1 愛媛国体の結果について**

① 決勝直前の心境

決勝まで進んだという嬉しい気持ちと緊張が混ざっていました。「勝ちたい！」という気持ちをなるべく抑え、1本1本に集中しよう決めていました。決勝戦を待つ間は同級生や後輩からもらった手紙やお守りを見て元気をもらいました。射場に入る前は、メンバー3人で声を掛け合い、緊張をほぐしました。

② 優勝した時の感想

実感がなく驚きの方が大きかったです。周囲から「おめでとう！」と言われ、初めて喜びと達成感を感じました。優勝という結果を出すまでには、辛いことや思い通りにならないことが多くありましたが、それらを乗り越えてきてよかったと思っています。ここまで成長できたのは、指導して下さった方々と支えてくれた仲間や家族のおかげです。優勝という形でみなさんに恩返しできてよかったです。

③ 今回の勝因

先を見ず、目の前の試合だけを考えたことです。特に、決勝トーナメントに入ってから、相手を意識せず自分たちらしい弓道をする事ができました。さらに、メンバーの3人がお互いにカバーしあうことで、安定した的中を出す事ができました。全員が最大限に力を発揮し、今まで培ったそれぞれの努力が今回の優勝につながったと思います。

**2 競技種目の魅力**

弓道は、子供から高齢者まで年齢関係なく楽しむことができます。弓道をする姿勢がよくなり、集中力を高めることもできます。他の競技とは違い、競技中は表情を顔に出せませんし、お互いに声をかけ合うこともできません。それが難しいところであり、弓道の奥深いところだと感じています。弓道は、他の競技ほど一般的には知られていないかもしれません。もっとたくさんの人に弓道を知ってもらえるよう、これからも活躍することで広めたいです。そして、世界中の人々が弓道と関わり、いつかはオリンピック競技になってほしいです。

**3 来年度の抱負**

私は、地元で弓道を続ける予定です。仕事と弓道の両立は難しいと思いますが、努力を続けたいです。卒業後は、現在のように毎日の練習時間確保は難しいと思います。だからこそ、練習できる時間を大切にしていきたいです。そして今度は成年の部で国体選手となり良い結果を残したいです。

**4 ジュニア選手にアドバイス**

目標をもつことが大切だと思います。目標をもつことで、練習に向かう意欲や気持ちを高めることができます。辛いことも乗り越えれば、成長できるはず。これからは秋田をスポーツで明るくしていけるように頑張っていきたいと思います。

**バドミントン**

成年女子 優勝  
㈱北都銀行バドミントン部  
佐々木 翔 監督



**1 愛媛国体の結果について**

昨年、本国体への出場を逃し今年は結果を重視して臨みたいと考えていました。北都銀行バドミントン部には現在5名の日本代表が在籍しています。9名の選手が競技に熱心に取り組めるのも



会社、地域のみなさまのおかげであるということに感謝し地域を代表して国体では優勝を目指して頑張りたいとチームとして考えていました。

## ① 決勝直前の心境

準決勝では3連覇中の熊本県に勝利し、1つの山場を越えました。しかし、地域の方々にも応援してもらっている恩返しをしたいという気持ちのもとあくまでも優勝を目指してやってきているのもう一度気持ちを引き締めてがんばろうとチームで再確認しました。

## ② 優勝した時の感想

成年女子として今回優勝すると初優勝ということで、戦力的には一番優勝に近い存在でしたが今まで優勝したことがないぶん慎重に様々なことを進めてきました。そのような経緯もあり私個人としても非常に嬉しかったです。

## ③ 今回の勝因

今回は国体の予選から日本代表のスケジュールが重なっていて、チームで纏めようというイメージで本国体まで戦ってきました。それぞれの役割や立ち位置が異なる中、自分の持ち場でチームのために、地域のために最後まで責任をもって臨んでくれたことが勝因であると考えています。

## 2 競技種目の魅力

バドミントン競技は、相手が強くなればなるほど、こちらがきてほしいと思ったところにシャトルは飛んでこないで自分の都合の良いこと、思い通りにいくことがほとんどなくなってきます。その思い通りにいかないということは日常生活や社会にもつながることです。バドミントン競技を通して人間形成にも繋がってくるのでそこを魅力と捉えています。

## 3 来年度の抱負

東京五輪への出場を目標としている選手たちもチームの中にいます。また日本全体をみても東京五輪が近づいてくるほど熱を帯びてくるものだと思います。勝ち負けにのみ左右されず、自分の目標に向けて真摯に競技と向き合い続けることができれば結果もあとからついてくると感じています。そのような方向性のチーム作りをしていきたいと思っています。

## 4 応援してくれた県民にメッセージ

いつも温かいご声援ありがとうございます。バドミントンという枠ではなくスポーツ全体で秋田県を元気にしていけたらという思いをもっています。そのためにはまず、選手たちが心身ともに健やかに競技に取り組めるようチーム全体で頑張っていきたいと思っていますので、引き続き応援のほどよろしくお願いいたします。

### バスケットボール

成年男子 優勝

佐藤 光 選手  
(東日本旅客鉄道㈱ 秋田支社)



## 1 愛媛国体の結果について

### ① 決勝直前の心境

今大会では、2回戦で昨年優勝の東京選抜に大差で勝利し、チー

ムは勢いに乗りました。初戦からホームのような応援をして下さっている地元のみなさまへの恩返し、そして何より秋田のみなさまに良い報告ができるよう、絶対に優勝しようとみんな気合いが入っていました。

### ② 優勝した時の感想

ここ数年良い結果を残す事ができていなかったもので、優勝した瞬間は本当に嬉しかったです。また、今まで応援して下さいたみなさまにやっと恩返しが出来たとホッとしました。

### ③ 今回の勝因

今大会では1、2回戦で大阪、東京といった強豪チームを相手に全員が出場し、大差で勝利するといった最高の形で大会に入れたのが大きな勝因だと思っています。また、会場全体がとても秋田を応援してくれ、毎試合ホームゲームのような雰囲気でしたのでできたのも非常に大きかったです。

## 2 競技種目の魅力

バスケットはチームスポーツなので、一人の力だけでは勝てませんし、一人がサボればチーム全体に影響を与えます。しかし、逆に一人の調子が悪くてもチームで助け合うこともできます。また、一人一人個性がある中で、それをチームとして機能させなければなりません。それらをクリアし、試合に勝った時の喜びがバスケットの魅力だと思います。

## 3 来年度の抱負

来年は他のチームから対策等も立てられ、今年以上に厳しい試合になると思います。しかし、受けて立つのではなく、私たちはまだまだ若いチームですので常に挑戦者の気持ちで、もう一度優勝を目指して頑張ります。

## 4 応援してくれた県民にメッセージ

今回優勝という結果を残せたのも、日頃から応援して下さいたみなさまのおかげです。本当にありがとうございます。

バスケットを通じて地域貢献をすることはチームの大事な目標の1つです。これからも試合に勝つ事、またクリニック等を通じて秋田のバスケットを盛り上げていけるよう活動していきますので、今後も応援よろしくをお願いします。

また、今大会たくさん声援を送って下さった愛媛県民のみなさまにも本当に感謝しています。ありがとうございました。

### バスケットボール

成年女子 優勝

伊藤 美和子 選手  
(㈱秋田銀行)



## 1 愛媛国体の結果について

### ① 決勝直前の心境

準決勝まで秋田銀行のバスケットをうまく表現することができませんでした。準決勝終了後、内容が良くなく、コーチに喝を入れられました。その後のミーティングで自分たちの目指すべきところ、やるべきことを再確認し、決勝戦に臨みました。

### ② 優勝した時の感想

ほっとしたのが大きかったです。今シーズン、4冠を達成するという目標を掲げましたが、全日本実業団大会で敗れてしまい、目標を達成することができなくなってしまいました。しかし、下



を向かずに一致団結し、気持ちを切り替え、秋田銀行のバスケットをやり通すことができ、自分たちがやってきたことに間違いはなかったと感じました。大会を通じて、良い経験をする事ができました。

③ 今回の勝因

チーム一丸となり、秋田銀行のバスケットをやり通したのだと思います。一人ひとりが勝ちにこだわり、良い時も悪い時も声を掛け合っていたことです。

2 競技種目の魅力

団体競技なので、一人だけが頑張っても勝つことができない、チーム一丸となって戦うスポーツです。試合展開が早いので、一瞬のうちに判断しなければいけません。その一瞬の駆け引きが面白いスポーツだと思います。

3 来年度の抱負

やるからには常に上を目指し、連覇することです。今まで国体で連覇することができず、全国大会で勝ち続ける難しさを経験してきたので、メンタル面の部分やチームワークの大切さを今後の試合で生かし、連覇をしたいと思います。

4 応援してくれた県民にメッセージ

愛媛国体ではたくさんのご支援をいただき、本当にありがとうございました。県民の皆様が優勝の報告ができ、とても嬉しく思っています。これから続く大会に向け更にパワーアップした秋田銀行のバスケットをお見せできるよう、全員一丸となり頑張りたいと思います。今後ともご声援のほどよろしくお願いします。

レスリング

成年男子 86kg級  
フリースタイル 優勝  
門間 順輝 選手  
(秋田市消防本部)



1 愛媛国体の結果について

連覇を狙って臨んだ昨年の岩手国体で、初戦で敗れた時の悔しさは今でも忘れていない。「昨年果たせなかったところまであと1勝。絶対に優勝を勝ち取る。」その想いで決勝のマットに上がった。試合終了のブザーが鳴った瞬間は、これまでの練習の成果が報われた気がしてこれまでと違った喜びを感じることができた。

ベテランと呼ばれる年齢となり、体力面では若い選手に太刀打ちできないが、それを技術・戦術面で補って試合できたことが勝因だと思う。何よりも昨年果たせなかったことに対する気持ちが自分を奮い立たせてくれたと確信している。

2 競技種目の魅力

レスリングは観衆の前で1対1の勝負をして、最後に勝者の手を審判が挙げる。他の競技に比べて魅力は少ないかもしれないが、厳しい練習や経験を乗り越えてこの瞬間を迎えることができたときにレスリング最大の魅力を感じることができる。

3 来年度の抱負

秋田県のレスリングは世代交代が急務であると感じている。自分のようなベテラン達が頑張ることによって、その中から本当に力をつけた次世代の選手が出てくると思う。個人的にはまだ若い

選手に負けるつもりはないが、秋田県のレスリングを牽引していきけるような選手を育成していきたい。

4 応援してくれた県民にメッセージ

国体出場にあたって、職場・レスリング協会関係者には多くの御協力、御支援を頂いた。期待に応えることができ、恩返しができたとと思う。ありがとうございました。

レスリング

少年男子 84kg級  
グレコローマンスタイル 優勝  
山田 修太郎 選手  
(秋田商業高校)



1 愛媛国体の結果について

① 決勝直前の心境

2連覇がかかっていましたが、普段どおりの緊張と興奮を感じながら試合に臨みました。決勝戦の相手は過去に対戦して勝利したことがあり、油断せず心に隙を作らないよう自分に言い聞かせました。

② 優勝した時の感想

連覇が達成できた安心感と同時に、地元秋田に貢献できた嬉しさを感じました。試合内容も自分のペースで展開できたので満足しています。

③ 今回の勝因

この階級の中では身体が小柄な方ですが、身体の大きい相手に対し、正面からだけでなく横からの攻撃を意識して貫き、その戦略が相手に伝わり優勝につながったと思います。

2 競技種目の魅力

豪快さやスピード感のある技を展開し、迫力のある攻防に見応えがあるところです。また、負けていても大逆転することもあるので、最後まで気を抜けないところも魅力の一つです。

3 来年度の抱負

大学進学を考えています。1年生から学生王者になれるように努力をしていきたいです。また、多様な技がある中で、自分にしかできない技の研究開発と、世界で通用するように意識して何度も反復練習し、巧みに仕掛けられるようにしっかりと身に付けたいです。

4 ジュニア選手にアドバイス

今、競技ができているのは、自分の周りにはいるたくさんの方々の支えがあるからです。これまでの感謝と恩返しの気持ちを忘れず、選手として一緒に秋田を盛り上げましょう。



# 第72回国民体育大会成績と前年度比較

●第72回国体 総得点 589.0点 + 参加点400点 = 989.0点

●第71回国体 総得点 417.5点 + 参加点400点 = 817.5点

	冬季大会(競技点)	本大会(競技点)	天皇杯得点	天皇杯	皇后杯得点	皇后杯
第72回	140.0点	449.0点	989.0点	20位	582.0点	20位
第71回	119.0点	298.5点	817.5点	37位	486.5点	36位

## 第72回大会 総合成績

### 天皇杯

(男女総合得点)

### 皇后杯

(女子総合得点)

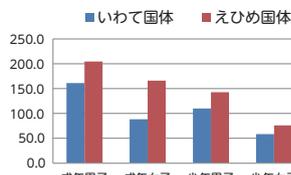
県名	順位	得点	県名	順位	得点
東京	1位	2535	東京	1位	1282
愛媛	2位	2395.5	愛媛	2位	1196
埼玉	3位	1787.5	大阪	3位	985
大阪	4位	1784	愛知	4位	925
神奈川	5位	1674.5	埼玉	5位	915.5
愛知	6位	1643.5	千葉	6位	842.5
福井	7位	1588.5	神奈川	7位	835
千葉	8位	1531.5	福井	8位	825
福岡	9位	1415.5	兵庫	9位	823.5
北海道	10位	1287.5	福岡	10位	767.5
京都	11位	1278.5	京都	11位	745.5
兵庫	12位	1237.5	岩手	12位	675.5
岐阜	13位	1151	岐阜	13位	664.5
岩手	14位	1125	岡山	14位	628.5
広島	15位	1123.5	北海道	15位	628
岡山	16位	1073.5	広島	16位	615.5
静岡	17位	1071.5	群馬	17位	612.5
長野	18位	1057.5	静岡	18位	608
奈良	19位	990.5	長野	19位	606
秋田	20位	989	秋田	20位	582
栃木	21位	964	茨城	21位	558
群馬	22位	950	長崎	22位	553.5
茨城	23位	948	鹿児島	23位	543
長崎	24位	940	熊本	24位	542
大分	25位	936.5	山形	25位	541.5
和歌山	26位	934.5	新潟	26位	519
三重	27位	909	山口	26位	519
石川	28位	906.5	和歌山	28位	509
熊本	29位	903	奈良	29位	506.5
香川	30位	888	石川	30位	500.5
山形	31位	873.5	鳥取	30位	500.5
新潟	32位	871	富山	32位	500
鹿児島	33位	864.5	三重	33位	495
宮城	34位	842	山梨	34位	488.5
青森	35位	827.5	島根	35位	488
富山	36位	821	香川	36位	464.5
山梨	37位	812.5	宮城	37位	462.5
島根	38位	806	佐賀	38位	462
滋賀	39位	802.5	栃木	39位	461
山口	40位	797.5	福島	40位	455
福島	41位	768	大分	41位	449
鳥取	42位	751.5	滋賀	42位	442
佐賀	43位	730.5	沖縄	43位	441.5
宮崎	44位	702	徳島	44位	416.5
沖縄	45位	670	宮崎	45位	403
徳島	46位	613.5	青森	46位	395.5
高知	47位	552.5	高知	47位	382.5

## 第71、72回大会 得点一覧比較

斜線: 種目なし    - : 出場なし    数値: 獲得得点

競技名	平成28年 第71回(岩手)					平成29年 第72回(愛媛)					
	獲得得点		獲得得点		合計	獲得得点		獲得得点		合計	
	成年	少年	成年	少年		成年	少年	成年	少年		
スケート(スピード)	0.0	1.0	-	-	0.0	1.0	0.0	-	-	0.0	0.0
スケート(フィギュア)	-	-	-	-	0.0	-	-	-	-	0.0	-
アイスホッケー	-	-	-	-	0.0	0.0	-	-	-	0.0	0.0
スキー	56.5	*118.5	30.5	*112.5	118.0	45.0	30.0	46.0	19.0	140.0	140.0
陸上	6.0	5.0	19.0	0.0	30.0	7.0	3.0	0.0	6.0	16.0	16.0
水泳(競泳)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	0.0	0.0	0.0	0.0
水泳(飛込)	-	-	-	-	0.0	-	-	0.0	-	0.0	0.0
水泳(水球)	-	-	-	-	0.0	-	-	-	-	0.0	0.0
水泳(シンクロ)	-	-	-	-	0.0	-	-	-	0.0	0.0	0.0
水泳(O/W)	0.0	-	-	-	0.0	0.0	0.0	-	-	0.0	0.0
サッカー	-	-	-	-	0.0	-	-	-	-	0.0	0.0
テニス	-	0.0	0.0	0.0	0.0	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ボート	0.0	0.0	15.0	10.0	25.0	0.0	-	15.0	12.0	27.0	27.0
ホッケー	-	-	-	-	0.0	-	-	-	-	0.0	0.0
ボクシング	-	-	-	-	0.0	-	-	-	-	0.0	0.0
バレーボール	0.0	-	0.0	0.0	0.0	0.0	-	0.0	0.0	0.0	0.0
ビーチバレー	-	-	-	-	0.0	-	-	-	-	0.0	0.0
体操(体操)	-	-	0.0	0.0	0.0	-	-	0.0	-	0.0	0.0
体操(新体操)	-	-	-	-	0.0	-	-	-	-	0.0	0.0
バスケットボール	0.0	27.5	-	-	27.5	40.0	40.0	-	0.0	80.0	80.0
レスリング	24.0	-	26.5	-	50.5	13.5	0.0	25.5	-	39.0	39.0
セーリング	2.0	0.0	0.0	0.0	2.0	1.0	0.0	0.0	0.0	1.0	1.0
ウエイトリフティング	19.0	-	6.0	-	25.0	16.0	0.0	22.0	-	38.0	38.0
ハンドボール	-	0.0	-	-	0.0	-	-	-	-	0.0	0.0
自転車	0.0	-	0.0	-	0.0	0.0	-	0.0	-	0.0	0.0
ソフトテニス	10.0	0.0	-	-	10.0	-	-	0.0	-	0.0	0.0
卓球	0.0	-	-	0.0	0.0	-	0.0	0.0	-	0.0	0.0
軟式野球	0.0	-	-	-	0.0	-	-	-	-	0.0	0.0
相撲	0.0	-	0.0	-	0.0	0.0	-	0.0	-	0.0	0.0
馬術	1.0	-	*21.0	-	2.0	2.0	0.0	0.0	-	2.0	2.0
フェンシング	15.0	9.0	0.0	15.0	39.0	18.0	21.0	9.0	15.0	63.0	63.0
柔道	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	-	0.0	-	0.0	0.0
ソフトボール	-	-	-	-	0.0	-	-	-	-	0.0	0.0
パドミントン	-	-	-	0.0	0.0	-	24.0	-	0.0	24.0	24.0
弓道	-	24.0	-	-	24.0	21.0	-	-	24.0	45.0	45.0
ライフル射撃	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	0.0	0.0	5.0	5.0
剣道	0.0	-	-	0.0	0.0	0.0	-	-	0.0	0.0	0.0
ラグビー	7.5	0.0	12.0	-	19.5	0.0	15.0	12.0	-	27.0	27.0
山岳	0.0	-	-	-	0.0	0.0	-	-	-	0.0	0.0
カヌー(SL・WW)	20.0	3.0	-	-	23.0	36.0	17.0	-	-	53.0	53.0
カヌー(S・P)	0.0	-	-	-	0.0	0.0	16.0	13.0	-	29.0	29.0
アーチェリー	-	-	-	-	0.0	-	-	-	-	0.0	0.0
空手道	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
銃剣道	-	-	-	-	-	0.0	-	0.0	-	0.0	0.0
クレ射撃	0.0	-	-	-	0.0	0.0	-	-	-	0.0	0.0
なぎなた	-	0.0	-	21.0	21.0	-	0.0	-	0.0	0.0	0.0
ボウリング	-	-	-	-	0.0	-	-	-	-	0.0	0.0
ゴルフ	0.0	0.0	-	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-	0.0	0.0
トライアスロン	0.0	0.0	-	-	0.0	-	-	-	-	0.0	0.0
小計	161.0	88.0	110.0	58.5	417.5	204.5	166.0	142.5	76.0	589.0	589.0
得点割合(%)	38.6	21.1	26.3	14.0	得点獲得	34.7	28.2	24.2	12.9	得点獲得	得点獲得
少年・成年別得点	249.0	168.5	-	-	団体	370.5	218.5	-	-	団体	団体
同割合(%)	59.6	40.4	-	-	15	62.9	37.1	-	-	15	15
男・女別得点	146.5	271.0	-	-	-	242.0	347.0	-	-	-	-
同割合(%)	35.1	64.9	-	-	-	41.1	58.9	-	-	-	-
天皇杯得点・順位	-	-	817.5点	37位	-	-	-	989.0点	20位	-	-
皇后杯得点・順位	-	-	*2486.5点	36位	-	-	-	582.0点	20位	-	-

冬季・本大会比較(獲得得点)



\*1:スキーマの女子リレーは獲得点数+2で成年女子、少年女子に配分    \*2:少年(男女混合)で女子選手が入賞(配点基準により男子として集計)



## 平成29年度中学生強化選手育成事業 中・高連携強化プロジェクト

選手及び指導者における、カテゴリーの枠を越えた連携とブラッシュアップを図り  
本県競技力向上のための一貫した指導体制を創出し、発展させるための事業です。



講師：長谷川 賢 宏（はせがわ たかひろ） ㈱ケッズグループ 代表取締役社長  
2012 ロンドン五輪 ビーチバレー男子日本代表チーム トレーナー  
2015 ユニバーシアード光州大会 バレーボール男子日本代表チーム トレーナー  
全日本女子バレーボールチーム トレーナー  
日本オリンピック委員会 強化スタッフ  
東京ヤクルトスワローズ（プロ野球） トレーナー



講師：佐久間 俊 和（さくま としかず） ㈱マネジメント開発研究所代表取締役  
慶應義塾大学商学部を卒業し㈱リクルートに入社。  
大手企業や国の機関でモチベーション研修を実施し、2012年4月東京未来大学に転身し、日本初であるモチベーション行動学科を立ち上げ、モチベーション理論と実務の現場を繋ぐ実践スキルを中心に担当。  
2014年ソチオリンピックではスキーツームのモチベーション講師を担当し、銀メダルへと導きました。

### 第1弾 パフォーマンステスト ー平成29年10月21日（土）開催

**狙い：** 国内外の大会等で活躍できるトップアスリートを育成するため、競技団体における中高一貫指導体制の構築・事業実施を推進するべく、科学的根拠に基づいた運動能力テスト「パフォーマンステスト」を実施し、専門家によるフィードバックを受けることで、選手個々に課題を自覚・意識させ自発的な取り組みを促します。



秋田県立中央公園トレーニングセンターにおいて本県ジュニアアスリートの競技力向上を目指し、科学的根拠に基づいた専門家のアドバイスにより選手個々に課題を自覚・意識させ、自発的な取り組みを促すための研修会を実施しました。

本県の代表選手として指定を受けた選手たちの中にも、やはり体力数値に大きな課題を持つ選手も少なくありません。今後の成長・発達段階の中でどれだけ健全かつ計画的に能力を育めるかが大きなカギになります。身長や体重といった固有の特性でやれている年代から、より専門的な能力が求められる年代へと移行した際にも、周りの選手に臆することなく戦える選手を育成するために、選手だけでなくその指導者も巻き込んだ県全体のブラッシュアップをさらに進める必要があります。

### 第2弾 指導者研修 ー平成29年11月23日（木）開催

**狙い：** 本県の競技力向上を目指した中・高一貫指導体制を発展させるため、指導者間におけるカテゴリーの枠を越えた連携と、指導者の技術・情報等を共有し、各競技団体の競技力向上につなげます。



秋田市の県青少年交流センター「ユースパル」にて、本県19競技各カテゴリーの指導者が会し、講義型式・実技型式・ディスカッション型式の3つの方法で、本県ジュニアスポーツの発展のために様々な意見を交わしました。

午前1コマ目は、先日行われた県中学生強化選手および県高等学校強化拠点校選手らのパフォーマンステストの結果を踏まえ、過去2年のテスト結果から見た傾向と全国レベルとの比較をテーマに受講形式で行いました。学校などで行う一般生徒混合の評価基準ではなく、あくまでもアスリートとしての視点に立つことによって見えた課題は大きく、講師の長谷川氏からは、①一部の好成績選手を除いて、全体的にA評価に届いていない種目が多く、ほとんどの選手が低い記録といえる。②身長・体重・BMIなどの体組成面においては全国に比べても概ね良好であるにもかかわらず運動能力ではA評価に届かないのは体の使い方等の見直しが必要。特に股関節の柔軟性等においてはどの競技も課題といえる。③基礎体力の向上、傷害予防のためのコンディショニングに対する知識習得、取り組みが今後さらに必要。情報発信も含め、各競技団体・各チームでの取り組みの継続が必須。と、本県ジュニア選手らの明確なウィークポイントが指摘されました。

2コマ目には、「パフォーマンステストから見る本県選手の弱点を克服するためのトレーニング方法」と題し、実際に選手の前立つ指導者がデモンストレーションできないことも大きな課題の一つとして挙げられることから、参加した指導者らが選手になり代わって講師から具体的なアドバイスを受けながら、実技研修を行いました。

最後には、今回3度目の講師を務める佐久間氏のコーディネートのもと、中・高一貫指導体制の創出の先にみえる世界で活躍するトップアスリートの輩出を目指し、競技や年代の壁を取り払う県全体としての連携創出のためのチームビルディングの手法などを学びながら、それぞれが抱える課題やこれまでにクリアした課題の解決手法などについての情報交換をしました。



## 加藤廣志氏（元秋田県体育協会副会長）

### 平成 29 年秋田県文化功労章を受章

平成 29 年 10 月 26 日、秋田県文化功労者表彰式が秋田県庁「正庁」において開催され、公益財団法人秋田県体育協会元副会長の加藤廣志氏が、スポーツの振興・発展の功績により、文化功労章を受章されました。

文化功労者は、本県文化の向上発展に卓絶な功績のあった個人や団体を対象に表彰するもので、昭和 31 年からこれまで、420 名の個人と 7 団体が受章しています。本年は、加藤廣志氏のほか 6 名の方々が受章しました。



#### 主なご功績

能代工業高校バスケットボール部監督として、昭和 42 年の埼玉国体では初優勝、昭和 50 年には初めて国体・インターハイ・選抜大会の三冠を獲得するなど、全国に能代工業高校の名を高め、監督在任期間 30 年間で、全国優勝 33 回、うち三冠 5 回の偉業を成し遂げました。

秋田県体育協会副会長、秋田県バスケットボール協会会長などを歴任し、本県のバスケットボールの普及に大きく貢献され、平成 19 年の秋田わか杉国体に際しては、競技力向上対策副本部長として競技力強化に尽力し、バスケットボール競技の総合優勝、天皇杯獲得に大きく貢献しました。

## 平成 29 年度 公益財団法人日本体育協会 公認スポーツ指導者等表彰受賞者

公益財団法人日本体育協会の公認スポーツ指導者として、資格取得後 15 年以上にわたり、スポーツの指導育成及び組織化等に尽力し、顕著な功績が認められるとして、本会の推薦により次の 4 名が表彰を受けました。

表彰式は、平成 29 年 12 月 9 日（土）に、TKP ガーデン品川で行われました。

- 榎 尾 生（水泳 上級コーチ）
- 石 塚 司（空手道 上級コーチ）
- 鈴 木 信 行（レスリング 指導員）
- 安 部 欣 哉（フェンシング マスター上級コーチ）



# 第28回 日・韓・中ジュニア交流競技会(2020年度) 本県での開催が決定!!

平成 29 年 11 月 8 日(水)開催の公益財団法人日本体育協会第 4 回定例理事会において、3 年後の平成 32(2020)年度に開催される「第 28 回日・韓・中ジュニア交流競技会」の開催地が本県に決定しました。

2016 年度開催のリオデジャネイロオリンピック日本代表選手の中にも、本競技会に参加した選手がいるなど、日本・韓国・中国各国の将来有望な高校生アスリートによるハイレベルな競技会が大きな魅力となっています。

また、本県にとっては、標記競技会を通じて、競技力向上（国体等に向けての選手強化）や県内の更なるスポーツ推進が期待されます。

## 日・韓・中ジュニア交流競技会とは

### 1. 概要

東アジア諸国との青少年スポーツ交流を促進し、これを通じて相互理解を深め、競技力向上に資するため平成 5（1993）年より日本・韓国・中国による持ち回りで開催されています。参加選手は、日本・韓国・中国・開催地選抜の 4 チームからなり、高校生世代では珍しい複数競技による国際的な競技会として発展してきました。また、期間中は競技だけでなく、フレンドシップ交流や開催地の文化探訪等を通じて、韓国・中国の選手達と友好・親善を深めます。

### 2. 大会開催期日

平成 32（2020）年 8 月 23 日（日）～ 29 日（土） ※予定

### 3. 実施競技

11 競技（陸上競技、サッカー、テニス、バレーボール、バスケットボール、ウエイトリフティング、ハンドボール、ソフトテニス、卓球、バドミントン、ラグビーフットボール）

### 4. 参加者数

約 1,000 人（日本 250 名、韓国 250 名、中国 250 名、秋田県選抜 250 名）

### 5. この競技会に参加して、2016 年開催のリオデジャネイロオリンピックに日本代表として出場した主な選手

- バドミントン：高橋礼華選手、松友美佐紀選手（第 16 回千葉）
- 陸上競技：飯塚翔太選手（第 17 回韓国・木浦）
- バレーボール：木村沙織選手（第 11 回韓国・済州）
- バスケットボール：渡嘉敷来夢選手、大崎（間宮）佑圭選手、栗原三佳選手（第 15 回中国・桂林）
- ウエイトリフティング：八木かなえ選手（第 17 回韓国・木浦、第 18 回中国・鄭州）
- 卓球：吉村真晴選手（第 18 回中国・鄭州）



【バレーボール】



【ラグビーフットボール】



【ハンドボール】



【フレンドシップ交流】

## 日・韓・中ジュニア交流競技会

### 日本の開催地

回（年）	開催地
第 1 回（1993 年）	福島県
第 4 回（1996 年）	長崎県
第 7 回（1999 年）	広島県
第 10 回（2002 年）	熊本県
第 13 回（2005 年）	北海道
第 16 回（2008 年）	千葉県
第 19 回（2011 年）	愛知県
第 22 回（2014 年）	岩手県
第 25 回（2017 年）	茨城県
第 28 回（2020 年）	秋田県

※写真は本年の茨城大会の様子



## 秋田トップアスリート無料職業紹介所・活動実績

～3人のトップアスリートが県内企業に採用されました～

- 佐藤 彩乃 選手 カヌーS L (雇用日 H29.4.1)  
AKH (株)秋田病理組織細胞診研究センター (秋田市) 技術職/現在カヌー海外留学中  
【直近の競技成績】 H29 えひめ国体 (成年女子) カナディアンS (15G. 第1位 /25G. 第1位)
- 菊地 憲 選手 レスリング (雇用日 H29.7.10)  
ALSOK 秋田(株) (秋田市) 営業職  
【直近の競技成績】 H29.10.22 全国社会人オープン選手権 フリースタイル 61kg級 第3位
- 佐々木 翼 選手 カヌーS L (雇用日 H29.8.8)  
(有)鶴の湯温泉 (仙北市) 旅館業務全般  
【直近の競技成績】 H29 えひめ国体 (成年男子) カヤックS (15G. 第2位 /25G. 第2位)



佐藤彩乃 (H29 えひめ国体)



菊地憲 (2014 ビル・ファーレル国際大会)



佐々木翼 (H29 えひめ国体)

### 秋田県「正規雇用奨励金」「競技活動サポート補助金」のお知らせ

本会の職業紹介事業を利用してトップアスリートを正規雇用した企業等は、県が行う正規雇用奨励金 (200万円) の支給 (1回のみ) と、競技活動サポート補助金 (上限年 240万円) の交付 (5年間) を受けることができます。

要件等の詳細については、本会ホームページでご確認いただくか、下記担当者にお問い合わせください。

#### ○トップアスリートの要件 (要約)

一般要件は秋田県内に居住するもので、国体での上位入賞を目指す意欲があり、将来指導者を志す者であつて、個別要件では過去の競技成績実績及び競技団体の推薦などが必要です。

#### ○企業等の要件 (要約)

一般要件は秋田県内に事業所を有する事業主であり、個別要件ではアスリートの競技活動を支援する事業主であることと、期間の定めのない正規雇用が要件です。

#### 秋田トップアスリート無料職業紹介所 (厚生労働省認可: 05-ム-300018)

担当者 就職推進アドバイザー 佐々木 功  
 所在地 秋田市八橋運動公園1番5号 公益財団法人秋田県体育協会内  
 電話 018-864-8094  
 H P [http:// www.akitaikyo.or.jp/job/](http://www.akitaikyo.or.jp/job/)  
 Facebook 「アスサポアキタ」



## 『せんぼくスポーツクラブ』設立総会開催

～県内75番目の総合型地域スポーツクラブが発足～

平成 29 年 10 月 26 日 (木) 仙北ふれあい文化センター (大仙市堀見内) において、総合型地域スポーツクラブ『せんぼくスポーツクラブ』の設立総会が開催されました。佐藤龍康 委員長 (設立準備委員会) の主催者挨拶に始まり、齊藤謙 専務理事 (秋田県体育協会)、安達成年 生涯学習部長 (大仙市教育委員会) から祝辞がありました。

山崎文幸事務局長 (設立準備委員会) から設立までの経過報告の後、吉田利雄議長の議事進行によりクラブ規約、事業計画、予算案、役員選出等が議案されました。佐藤龍康会長ほか役員が選出され、いよいよ新しいクラブの船出となりました。

秋田県内では、75 番目のクラブ誕生となり、大仙市の旧市町村 (大曲市・神岡町・南外村・西仙北町・中仙町・協和町・仙北町・太田町) 全てに総合型地域スポーツクラブが設立されたこととなります。



齊藤専務理事



安達部長



議案審議中 (中央: 吉田議長)

## 秋田県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会県北地区クラブ交流会

開催: 平成29年10月22日 (日) / 主管: 合川スポーツクラブ

合川スポーツクラブ (北秋田市) の皆様の準備の下、男女合わせて7チーム、約 100 名の各クラブの参加者が合川体育館に集まり、ビニールバレーボールの交流戦が行われました。終始和やかな雰囲気の中で交流戦が行われ、試合後は、各自が持ち寄ったお弁当を食べながら、活発な情報交換も行われるなど大変有意義な交流会となりました。



開会式



齊藤副会長 ご挨拶

本部席



かみこあにスマイルA VS 合川あじさい (女子チーム)

### 《参加チーム》

- (男子) 森吉クマガラスポ-ツクラブ
- 鷹巣同好会
- たかのす楽遊クラブ
- かみこあにスマイルB
- (女子) 鷹巣同好会
- 合川あじさい
- かみこあにスマイルA



# 高校スポーツ。いざ、冬の陣!

## 駅伝競走 (男子)

秋田工業高校 (5年連続23回目)  
主将 天野 竜汰



10月29日の県予選では全員の力を結集して優勝、5連覇を達成することができました。今年も駅伝の聖地「都大路」を走れることを嬉しく思います。しかし、全国の舞台で強豪校と戦うには自分たちには克服すべき課題があります。それは『意識改革』です。その中心となることは、陸上競技に本気で取り組むことです。これまでの日々の生活を振り返ってみると、自分たちは「やっているつもり」ということが多くあります。このことがチームの基本である凡事徹底を疎かにしたり、人任せにしたりしてしまうことにつながっています。監督の「駅伝は最後は自分が出る。日常の取組が表れる!」という言葉を変えて噛みしめ、結果を出すための取組をしていきたいと思ひます。そして、今まで支えてくださった方々への感謝の気持ちを忘れず、師走の都大路では攻めの気持ちで粘り強い走りをし、今年のチームにしかできない駅伝で秋田工業の歴史に新たな伝統を刻みたいと思ひます。



## バスケットボール (男子)

秋田工業高校 (31年ぶり3回目)  
主将 広川 汰輝



ウインターカップ秋田県予選会において、初優勝することができたのは支えてくださった方々や応援して下さった皆様のおかげです。本当にありがとうございました。新チームとして迎えた全県新人では4位、インターハイ予選では準決勝敗退という結果でした。チームの目標を達成できない結果が続き、苦しい時期を過ごしましたが、今大会で優勝という結果を残すことができ嬉しく思っています。

練習では、スクリーンバスケットの展開や激しさ、力強さをコンセプトとしたチームディフェンスの強化に取り組んでいます。粘り強いチームディフェンスを全国の舞台で発揮できるように常に意識して練習に取り組み、戦う準備をしていきたいと思ひます。私たちの目標は、秋田県の皆様に感動を与えることができるような勝利の一つでも多く届けることです。今まで支えてくださった多くの方々に感謝を込めて、秋田県の代表として、そしてチャレンジャーとして全力で戦いたいと思ひます。応援のほどよろしくお願いいたします。



## 駅伝競走 (女子)

秋田北鷹高校 (2年連続7回目※)  
主将 藤田 正由加

※旧鷹巣高校・鷹巣農林高校の出場回数を含む



たくさんの方々からの御支援、御声援のおかげで、昨年に引き続き優勝することができました。今年にはチーム内での故障が多く、勝負するには厳しい状況でした。今回のタイムを見て全国で十分に戦えるものではありません。でも、昨年、悔しい結果で終わった全国高校駅伝に、今年も挑戦するチャンスをいただきました。昨年の反省を活かし、体調管理の徹底、個々の走力アップ、チーム力の向上を図り、全国の強豪校に挑戦します。感謝の気持ちを忘れず、チームを信じ、自分を信じ、最後まで自分たちらしい「思いをつなぐ駅伝」を展開します。

御声援、よろしくお願ひします。



## バスケットボール (女子)

湯沢翔北高校 (9年連続17回目)  
主将 佐々木 留夏



結果として連続出場を決めることができたものの、学校行事などの都合で十分な準備ができず、不安の多い予選大会でした。インターハイと国体では練習の成果を発揮できないまま敗れているので、ウインターカップでは速い攻撃と積極的なディフェンスを軸とする翔北のバスケットボールを表現したいと思ひます。力を発揮できなかった原因の一つであるメンタルを強化するため、改めて個々の意識改革に取り組んでいます。また攻防両面でチーム戦術を使いこなせるよう、お互いの会話を増やして共通理解を深めることにも力を入れています。その成果として、試合で起こる様々な状況を打開する力を高めたいと思ひます。毎年、会場の東京体育館では、県人会や同窓会の方々の沢山の応援をいただきながら、試合することができます。その方々や地元の方々の期待に応えられるよう、精一杯頑張りたいたいと思ひます。





●全国高等学校駅伝競走大会	12/24	京都府	京都市西京極総合運動公園陸上競技場
●全国高等学校バスケットボール選手権大会	12/23～29	東京都	東京体育館
●全国高等学校ラグビーフットボール大会	12/27～1/8	大阪府	近鉄花園ラグビー場
●全国高校サッカー選手権大会	12/30～1/8	東京都	駒沢陸上競技場ほか(神奈川県・埼玉県・千葉県)
●全日本バレーボール高等学校選手権大会	1/4～8	東京都	東京体育館

ラグビー

秋田工業高校（2年連続67回目）  
主将 児玉 樹



2年連続の花園出場を決めた瞬間、私は嬉しいという気持ちよりも安心したという気持ちの方が強くありました。決勝の相手は一昨年の決勝で敗れた秋田中央高校、「やっとリベンジできる」という楽しみもありましたが、「絶対に負けれない」という不安もありました。不安を消すため、自分に言い聞かせる

よう、とにかく楽しもうと部員全員に話をしました。保護者や全校生徒の応援も後押しし、相手を圧倒して花園出場を勝ち取ることができました。

次の目標は花園ベスト4以上です。昨年はBシードをいただいたものの、初戦で報徳学園に敗れてしまいました。今年のチームには、昨年の花園を経験したメンバーが多くいます。昨年の先輩方を越えるため、また、一日でも長くこのチームのメンバーとラグビーをするため、周囲の方々への感謝を忘れず準備していきたいと思えます。そして、秋田県代表の名に相応しいプレーをし、目標を達成できるよう頑張ります。



バレーボール（男子）

雄物川高校（23年連続23回目）  
主将 田畑 聡一郎



春高予選を終え、23年連続で本戦に出場することが出来て嬉しく思います。本戦に向けて、サーブとレシーブ、そしてメンタル面の3つを強化していきたいと思えます。1つでも多く勝ち上がり、結果を残すためにボールに対する執着心をもって必死に戦います。春高全国大会が3年生にとっての集大成の大会となるので、3年間の思いを全力でぶつけていきたいです。そのためにチームが一体となりベスト4という目標に向かって、残りわずかな日々を有意義に過ごし、練習や合宿に取り組みます。

これまでプレーを続けてこられたのは、監督をはじめとするスタッフや学校の先生方、地域の方々やいつも近くで励ましてくれた親の熱いご指導やご支援があってこそだと感じています。その方々に恩返しをするには、やはり春高で必死な姿で戦い結果を残すことに尽きます。「感謝、執念」の気持ちを忘れず、一球に全員で食らいついて戦ってきます。



サッカー

秋田商業高校（3年連続43回目）  
主将 奈良 学



憧れの的、全国高校サッカー選手権大会という大きな大会において、秋田県勢は、12年連続初戦敗退を喫しています。私は2年次から試合に出場していますが、選手権だけではなくインターハイにおいても全国との差を痛感し、悔しい思いを味わってきました。

今年は「全国で勝つ」という目標を掲げ、全国基準で練習に取り組むことを意識しました。テーマは「守備」です。チームで連動し、粘り強く守備をすることで全国を相手にしても失点しなければ勝利が近づいてくると考えています。その成果もあり、インターハイでは福井県代表の丸岡に対してPK戦で敗れましたが、0対0というスコアでした。あと一步のところまで涙ののんだものの、全国での勝利は確実に近づいていると実感しました。悔しい思いをしてきた私にとって、この大会は全国で勝つラストチャンスです。今までの悔しさと、関わった全ての方々への感謝を忘れず、今年こそ勝利を勝ち取ってきます。



バレーボール（女子）

由利高校（3年連続28回目）  
主将 吉野 優理



先日、秋田市立体育館で春の高校バレー秋田県予選会が行われました。決勝戦は最後まで由利のペースで進み、自分自身3年連続の優勝で県内大会を終えることができました。3度目の春高に向けて、一昨年、去年は目標まで届かず、悔しい思いをし続けました。1回戦では勝ち上がるものの、2回戦になると

まるで違うチームかのように自分たちのバレーボールができなくなります。相手チームに対応してリズムを早く作り、自分たちのペースを掴む事が大切だと思うし、派手なプレーではなく、当たり前の事を当たり前に行い、最後の舞台で勝負していきたいと思えます。そして、私たちに敗れ引退していったチームがたくさんあります。自分たちだけの思いではないし、秋田県代表として誇りを持ち、全力で戦いたいと思えます。





## 県内スポーツの主なできごと

9月

- 11日 カヌー日本スプリント選手権大会で、小野祐佳（県体協）が、女子カヤックシングル 200 m・500 mで2冠
- 16日 中学生3年生を対象にしたスポーツ能力測定会を開催。ゲストは前園真聖氏（サッカー元日本代表）

10月

- 8日 ラグビーのトップリーグ公式戦（NEC ヤマハ戦）が、県内で初めて開催
- 20日 U20 日本陸上選手権大会の女子ハンマー投で、小館充華選手（花輪高校出身）が優勝
- 21日 中学生強化選手育成事業 中・高連携強化プロジェクト「パフォーマンステスト」開催
- 26日 加藤廣志氏（元県体協副会長）が、秋田県文化功労章を受章
- 29日 フェンシングのU23選手権大会（ベトナム・ハノイ）女子フルーレ団体で日本チームが準優勝。メンバーの柳岡はるか選手（秋田市出身）は、26日の女子フルーレ個人で銅メダル

11月

- 1日 東京都大田区議会オリンピック・パラリンピック観光特別委員会が本会を行政視察
- 8日 フェンシング・フルーレの全国カデ（17歳未満）選手権大会で、成田航也選手（北鷹高2年）と土佐千乃選手（聖霊高1年）が、男女アベック優勝
- 10日 県とタイ政府との間で、観光・スポーツの分野での交流促進について合意
- 12日 全日本大学レスリング選手権の男子フリースタイル 125kg級で、伊藤昌選手（五城目高出身）が優勝
- 13日 日韓交流事業（15～20日）サッカーU14日本女子選抜メンバーに、石川瑠音（秋田市出身）が選抜
- 23日 中学生強化選手育成事業 中・高連携強化プロジェクト「指導者研修」開催
- 25日 秋田県競技力向上連絡協議会・第13期秋田県中学生強化選手指定証交付式

## 秋田県体育協会へのご寄付のお願い

本県スポーツの振興と競技力の向上を図り、さまざまな公益目的事業を実施する経費の一部に充てるため、県民及び県内外の企業、団体へご寄付をお願いしております。

公益財団法人への寄付は、所得税法、法人税法による寄付金特別控除、損金算入（法人の場合）などの特例対象となります。スポーツ立県を支え、実現していくために、多くの皆様のご理解、ご協力をお願いします。

平成29年10月1日から平成29年11月30日までの間、寄付申込みをいただいた法人・団体・個人を御紹介します。（敬称は略させていただきます。）

【法人・団体】 秋田いすゞ自動車株式会社 有限会社碓谷建築

## 会議録（抄）

10月17日 第3回強化委員会

- ・第3期高等学校強化拠点校について

11月29日 第4回強化委員会

- ・えひめ国体の総括について
- ・テクニカルアドバイザーの選定方針等について

- ・第13期秋田県中学生強化選手について
- ・第3期高等学校強化拠点校について
- ・平成29年度スポーツ指導者養成講習会等について
- ・平成30年度の競技力向上推進計画について

## 平成29年度 関係団体創立記念行事一覧

関係団体の創立記念行事が次のとおり開催されました。誠におめでとうございます。

今後の益々の発展とご活躍を祈念いたします。

秋田県水泳連盟 創立70周年記念式典

11月26日

秋田ビューホテル

編集  
後記

えひめ国体における本県選手団は、天皇杯・皇后杯ともに20位と、昨年の成績から大きく順位を上げることができました。今後も、更なる向上をめざして各種強化事業を推進していきます。一層のご支援を、どうぞよろしくお願いたします。

本誌の発行にあたり、ご多用中の折、取材や原稿執筆などにご協力くださいました皆様、写真を提供してくださいました秋田魁新報社様、ご協力ありがとうございました。（佐藤事務局長）

本格派コーヒー・自動販売機サービス

M.M.C.®

三本コーヒー株式会社  
秋田支店

〒010-0916 秋田県秋田市泉北3-3-35  
TEL 018 (865) 5461 FAX 018 (888) 1721

駄菓子・クジ・縁日グッズ  
お菓子の袋詰

しもむら



☎832-6766 駄菓子のしもむら 検索

資源を活かして地域社会に貢献

砕石・生コン製造販売業

堀江建材株式会社

代表取締役 鈴木 泚 士

秋田県大館市中道三丁目1番50号  
TEL 0186-49-0280  
FAX 0186-43-0002

株式会社松 田

地域の発展とともに  
株式会社湯沢生コン  
松田グループ 株式会社丸栄建設  
株式会社出羽運輸

株式会社エィコウ物産

本 社 / 湯沢市字鶴館 39-4 TEL.0183-73-0188

事業内容

会社財務・決算・記帳代行・税務相談・経営助言・  
相続・贈与・事業承継対策・医療法人経営指導税務対策

税理士法人  
秋田税経プランニング

税理士 高 橋 真 一  
税理士 横 山 富 夫

本 店 / 秋田市南通亀の町 4 番 9 号 Tel.018-833-4022  
横山会計 / 秋田市川尻若葉町 4 番 37 号 Tel.018-862-6388

美人を育む秋田米

©zenoh



あきたこまちと比べてやや  
すっきりとした味で、旨みと  
コクと甘味が感じられます。  
甘味はさほど強くないが、  
旨みが強く、味に厚みと  
コクがあります。



「あきたecoらいす」とは

使用農薬成分回数を半分以下に抑えたお米です。

JAグループ秋田・JA全農あきた



輝きを 汗に 瞳に このまちに  
能代山本スポーツリゾートセンター **アリナス**

スポーツ 合宿 研修 ... に

ア リ ナ 宿 泊 室  
ト レ ニ ン グ ル ー ム 宿 ス ト ラ ン  
温 水 プ ー ル 温 泉 ト ラ ン  
研 修 ル ー ム (サウナ有) 場  
ミ ー テ ィ ン グ ル ー ム



〒016-0014 秋田県能代市落合字下台2番地1  
JR能代駅から車で10分  
TEL 0185(54)9200 FAX 0185(54)2322  
<http://www.noshiroyamamotokouikiken.jp/kouryuu/arinasu/list.html>



# スポーツ安全保険®

**対象となる事故**

団体活動中の事故/  
往復中の事故



**保険期間**

平成29年4月1日午前0時から  
平成30年3月31日午後12時まで

**加入区分・掛金・補償額**

加入対象者	補償対象となる団体活動	加入区分	年間掛金 (1人当たり)	傷害保険金額				賠償責任保険 支払限度額 (免責金額なし)	突然死葬祭 費用保険 支払限度額	
				死亡	後遺障害 (最高)	事故の日からその日を含めて180日以内				
						入院日額 (1日目から/ 180日限度)	通院日額 (1日目から/ 30日限度)			
子ども (中学生以下) ※特別支援学校高等部の生徒を含む	スポーツ活動 文化活動 ボランティア活動 地域活動	A1	800円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	対人・対物賠償 合算1事故 (ただし、対人賠償は 1人1億円)	5億円	突然死 (急性心不全 脳内出血 など)
	上記団体活動に加え、個人活動も対象 上段：団体活動中およびその往復中の補償額 下段：上記以外(個人活動など)の補償額	AW	1,450円	2,100万円	3,150万円	5,000円	2,000円	対人・対物賠償 合算1事故 (ただし、対人賠償は 1人1億500万円)	5億500万円	葬祭費用 180万円
大人 (高校生以上)	スポーツ活動 スポーツ活動の指導・審判	C 64歳以下	1,850円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	対人・対物賠償 合算1事故 (ただし、対人賠償は 1人1億円)  ⚠️自動車事故によつて賠償責任を負った場合は、補償の対象となりません。	5億円	突然死 (急性心不全 脳内出血 など) 葬祭費用 180万円
	※右記年齢の判断は、「平成29年4月1日」と「掛金の支払い手続きを行う日」のいずれか遅い日の年齢を基準とします。	B 65歳以上	1,200円	600万円	900万円	1,800円	1,000円			
	文化活動 ボランティア活動 地域活動 準備・片付け・応援・団体の送迎 ※スポーツ活動を行う場合は対象となりません。	A2 A2区分は65歳以上の方も加入できます。	800円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円			
全年齢	危険度の高いスポーツ	D	11,000円	500万円	750万円	1,800円	1,000円			

年間掛金には、制度運営費(10円)が含まれます。



公益財団法人 **スポーツ安全協会 秋田県支部** (公財)秋田県 体育協会内

〒010-0974 秋田市八橋運動公園1-5 秋田県スポーツ科学センター内

TEL **018-883-0360** 電話受付時間 午前8時30分～午後5時(土、日、祝日を除く。)



保険の詳細内容、資料の請求は、  
ホームページをご覧ください。  
※インターネットからも加入受付をおこなっております。

スポーツ安全協会

この広告はスポーツ安全保険(スポーツ安全保険特約書に基づく傷害保険(スポーツ安全協会傷害保険特約・スポーツ安全協会傷害保険特約(学校管理下外担保)・突然死葬祭費用担保特約付帯普通傷害保険)、賠償責任保険(スポーツ安全協会賠償責任保険特約等付帯施設賠償責任保険及びスポーツ安全協会傷害保険特約(学校管理下外担保)付帯普通傷害保険賠償責任担保条項))の概要についてご紹介したものです。ご加入の際には、必ず「スポーツ安全保険のあらし」および「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は保険約款および特約書によりますが、ご不明の点がございましたら(公財)スポーツ安全協会または東京海上日動火災保険(株)までお問い合わせください。

〈引受幹事保険会社〉

東京海上日動火災保険株式会社  
担当課 公務第2部 文教公務室  
TEL 03-3515-4346 (平日9:00~17:00)

〈共同引受保険会社(平成29年4月)〉

あいおいニッセイ同和 共栄火災 損保ジャパン日本興亜  
大同火災 東京海上日動 日新火災 富士火災 三井住友海上

平成28年12月作成 16-T20746